

【原著】

入学区分別にみる学業成績と生活態度と卒業時の意識

林寛子（山口大学）

山口大学では入学者の追跡調査を受験した入試に始まり、入学時の意識、在学中の学業成績や生活態度、卒業時の意識・満足度に至るまで、学生が大学で成長していく多様な実態を一貫して把握する手法で実施している。この追跡調査の最も大きな目的はアドミッション・ポリシーと選抜方法の整合性の検証である。本報告は、データを蓄積し検証していくための予備分析として、在学中の学業成績、生活態度と卒業時の意識の関連を募集単位別に分析し特性を把握するとともに、アドミッション・ポリシーの検証の方向性を探るものである。

1 はじめに

山口大学は大学全体で求める学生像、学部が求める学生像をアドミッション・ポリシーとして示している。また、グラデュエーション・ポリシー（一般的にはディプロマ・ポリシー）を掲げ、大学教育の質の保証をしている。このアドミッション・ポリシー、グラデュエーション・ポリシーの中には、意欲や資質・能力が示されている。意欲や資質・能力は抽象的であり、評価、測定することは容易ではないのだが、大学教育において重視されている。

大学入試はアドミッション・ポリシーに基づいて実施されており、アドミッション・ポリシーに掲げた学生を獲得できたのかどうかを検証しなければならない。これは、容易なことではないが、高校教育と大学教育の接続のためには、この意欲や資質・能力の部分について検証し、具体的に示す必要がある。

山口大学では入学者追跡調査の一環として、入学時と卒業時に全学生を対象として学籍番号の記入を求めた意識と活動実態を把握する調査を行っている。学籍番号を求めるのは、入学時と卒業時の調査を対照させるだけでなく、入試成績、在学中の学業成績等とも結び

付けるためである。山口大学の入学者の追跡は、受験した入試に始まり、在学中の学業成績や生活態度、卒業時の意識・満足度に至るまで、学生が山口大学で成長していく多様な実態を一貫して把握する手法をとっており、この追跡データからアドミッション・ポリシーの検証を実施し、さらに大学教育や入試の改善の資料を得ようとしている。

この追跡調査の手法は平成 21 年度から実施し、データの蓄積は途中段階¹⁾である。そこで、本報告では、平成 21 年度卒業生の学業成績と卒業時調査のデータを用いて、入試においてアドミッション・ポリシーに掲げた学生を獲得できたかどうかの検証の予備分析として、在学中の諸活動や卒業時の意識が学業成績にどのように関わっているのか、また、学業成績と在学中の諸活動や卒業時の意識との関わりに入学区分別の特性があるのかを把握し、アドミッション・ポリシーの検証の方向性を探る。

2 分析対象者

本報告で用いるデータは、平成 21 年度卒業生のデータであるが、入学区分別の特性を正確に把握するため AO 入試、推薦入試、前

期日程、後期日程の全てを全募集単位で実施している学部限定する。対象学部は、人文学部、経済学部、工学部となる。そのうち、AO入試、推薦入試、前期日程、後期日程で入学し、4年間在籍して卒業した学生のみを分析対象とする。さらに、卒業時調査において学籍番号を正確に記入し、成績データ等と一致させることが可能であった者が分析対象者となる。

分析対象学部の卒業時調査の回収率は表1である。このうち卒業時調査で学籍番号を正確に記入し、4年間で卒業した分析対象者となる者は614名で、その学部比は表2、入学区分比は表3のとおりである。なお、山口大学の実際の入試区分比は6割が前期日程、2割が後期日程、2割が推薦入試とAO入試等特別選抜による入学者である。

表1 分析対象学部の卒業時調査の回収率

	対象学部全体	人文	経済	工
21年度卒業生	1,177	180	389	608
回収率	68.5	52.2	96.1	54.1

表2 分析対象者数と学部比

	対象学部全体	人文	経済	工
分析対象者	614	81	300	233
分析対象者の学部比	100.0	13.2	48.9	37.9

表3 分析対象者の入学区分比

	度数	%
AO	34	5.5
推薦I	70	11.4
推薦II	23	3.7
前期日程	397	64.7
後期日程	90	14.7
合計	614	100.0

3 卒業時の入学区分別特性

3.1 入学区分別学業成績

まず、入学区分別に学業成績について見る。学業成績は在学期間に履修した全ての科目のGPA²⁾(以降、全体GPA)と山口大学が導入しているTOEICを活用した英語カリキュラムにおけるTOEIC最高スコア³⁾を用いる。

分析対象者の入学区分別の全体GPAの平均点を示したものが表4である。分析対象者全体では、AOの学生の全体GPAは平均点が2.05で最も低い。学部ごとに入学区分別の全体GPAの平均を見ると、経済学部、工学部でAOの学生の全体GPAの平均値が低い

有意な差異差は見られない。

続いて、分析対象者の入学区分別のTOEICの最高スコアの平均点は表5のとおりである。分析対象者全体では、推薦I(センター試験を課さない推薦入試)の学生の最高スコア平均点が最も低く、次いでAOの学生となる。推薦Iを実施しているのは経済学部、工学部である。学部ごとに入学区分別の最高スコアの平均を見ると、工学部の推薦Iの学生が極めて低い。推薦II(センター試験を課す推薦)を実施している人文学部では、AOの学生の最高スコア平均が低くなっているが、有意差は見られない。

入学区分別に卒業時の学業成績を全体GPA、TOEIC最高スコアで見ると、センター試験を課さない入試によって入学してきた学生が相対的に低いと言える。

表4 全体GPAの入学区分別平均

		度数	平均値	F値	有意確率
全体	AO	34	2.05	2.709	.029
	推薦I	70	2.14		
	推薦II	23	2.41		
	前期日程	397	2.11		
	後期日程	90	2.12		
	合計	614	2.12		
人文	AO	5	2.39	.467	.706
	推薦II	23	2.41		
	前期日程	44	2.34		
	後期日程	9	2.28		
	合計	81	2.35		
経済	AO	18	1.98	1.175	.320
	推薦I	52	2.13		
	前期日程	194	2.01		
	後期日程	36	2.09		
	合計	300	2.04		
工	AO	11	2.00	.612	.608
	推薦I	18	2.15		
	前期日程	159	2.17		
	後期日程	45	2.12		
	合計	233	2.15		

表5 TOEIC最高スコアの入学区分別平均

		度数	平均値	F値	有意確率
全体	AO	34	450.0	4.626	.001
	推薦I	70	436.6		
	推薦II	23	476.3		
	前期日程	397	465.5		
	後期日程	90	488.0		
	合計	614	465.1		
人文	AO	5	455.0	1.877	.141
	推薦II	23	476.3		
	前期日程	44	501.7		
	後期日程	9	532.8		
	合計	81	495.1		
経済	AO	18	475.6	3.674	.013
	推薦I	52	453.4		
	前期日程	194	485.1		
	後期日程	36	510.3		
	合計	300	482.0		
工	AO	11	405.9	6.871	.000
	推薦I	18	388.3		
	前期日程	159	431.6		
	後期日程	45	461.2		
	合計	233	432.8		

3.2 在学中の諸活動

次に、在学中の諸活動について見る。卒業

時のアンケート調査で、授業以外での諸活動について尋ねている。図1は平成21年度卒業時調査の結果である。多くの学生が在学中に「アルバイト」と「クラブ・サークル活動」を経験している。入学区分別に見て注目すべきは「ボランティア活動」であり、AO学生が活動した割合が高い。

そこで、本分析対象者の卒業時調査における在学中に活動した項目数を算出し、活動数とした。そして、入学区分別に活動数の平均を示したものが表6である。全体で、AOの学生が他の入学区分の学生に比べて活動数が多い。学部ごとに見ると、人文学部、経済学部でAOの学生が他の入学区分の学生に比べて活動数が多い傾向にある。

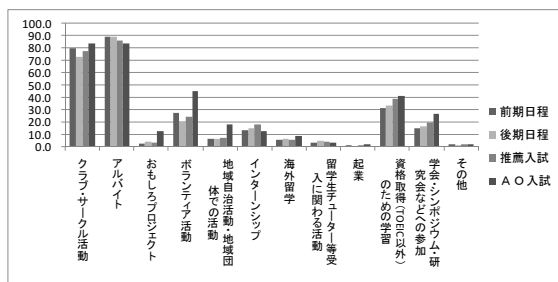


図1 卒業時調査における入学区分別大学で活動したもの（複数回答）
※平成21年度卒業時調査結果より

表6 活動数の平均

		度数	平均値	F 値	有意確率
全体	AO	34	3.35	2.178	.070
	推薦 I	70	2.74		
	推薦 II	23	3.22		
	前期日程	397	2.81		
	後期日程	90	2.58		
	合計	614	2.81		
人文	AO	5	4.20	.742	.530
	推薦 II	23	3.22		
	前期日程	44	3.16		
	後期日程	9	2.89		
	合計	81	3.21		
経済	AO	18	3.78	2.833	.039
	推薦 I	52	2.85		
	前期日程	194	2.99		
	後期日程	36	2.53		
	合計	300	2.96		
工	AO	11	2.27	.148	.931
	推薦 I	18	2.44		
	前期日程	159	2.50		
	後期日程	45	2.56		
	合計	233	2.49		

3.3 卒業時の意識

3.3.1 自己の資質・能力についての意識

次に、卒業時の意識として、「自己の資質・能力」「大学における自己の成長」「大学生活に対する満足度」について見る。

卒業時調査では、卒業時に保有する「自己の資質・能力」について自己評価をさせている。具体的には、資質・能力を示す24項目について4段階評価「かなりあてはまる」「少しあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」で回答を求めている。図2は平成21年度卒業時調査の結果で、「かなりあてはまる」「少しあてはまる」の回答を合算した値を入学区分別に示したものである。図2において注目すべきは、AOの学生に「社会性」「謙虚さ」「教養」「推察力」「批判力」等の多くの項目で保有していると自己評価する学生が多いことである。

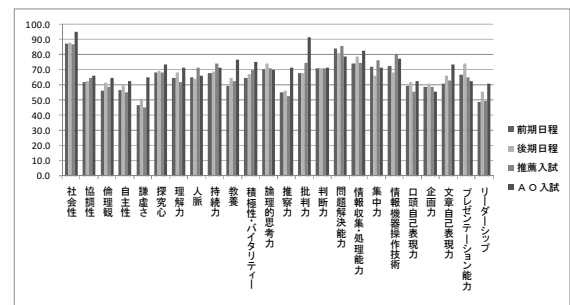


図2 卒業時調査における入学区分別資質・能力についての自己評価
※平成21年度卒業時調査結果より

そこで、本分析対象者の卒業時調査における資質・能力の自己評価について、「かなりあてはまる」4点「少しあてはまる」3点「あまりあてはまらない」2点「全くあてはまらない」1点として24項目の合計点を算出し、資質・能力の自己評価得点とした。表7は資質・能力の自己評価得点の入学区分別平均を示したものである。

表7 資質・能力の自己評価得点

		度数	平均値	F 値	有意確率
全体	AO	33	69.67	1.202	.309
	推薦 I	70	67.90		
	推薦 II	23	65.48		
	前期日程	381	66.13		
	後期日程	88	66.92		
	合計	595	66.63		
人文	AO	5	64.60	.616	.607
	推薦 II	23	65.48		
	前期日程	41	62.22		
	後期日程	9	64.67		
	合計	78	63.62		
経済	AO	17	73.18	.755	.520
	推薦 I	52	69.40		
	前期日程	185	69.70		
	後期日程	34	68.71		
	合計	288	69.74		
工	AO	11	66.55	1.327	.266
	推薦 I	18	63.56		
	前期日程	155	62.90		
	後期日程	45	66.02		
	合計	229	63.74		

分析対象者全体ではAOの学生が69.67で、他の入学区分の学生の平均よりも高い。特に経済学部のAOの学生の平均が高く、資質・能力の自己評価が高い学生と言えるが、有意差はない。

3.3.2 大学教育における自己の成長

続いて、「大学における自己の成長」について見る。卒業時調査では24項目の資質・能力が大学においてどの程度養われたか、「大学でかなり養われた」「大学で少しは養われた」「大学ではあまり養われなかった」「大学では全く養われなかった」の4段階評価で回答を求めている。図3は平成21年度卒業時調査の結果である。「大学でかなり養われた」「大学で少しは養われた」の回答を合算した値を入学区分別に示した。入学区分別に見て注目すべきは、AOの学生が他の入学区分の学生よりも大学で養われたと評価する項目が「人脈」「教養」「積極性・バイタリティー」「推察力」「リーダーシップ」等に見られる点である。

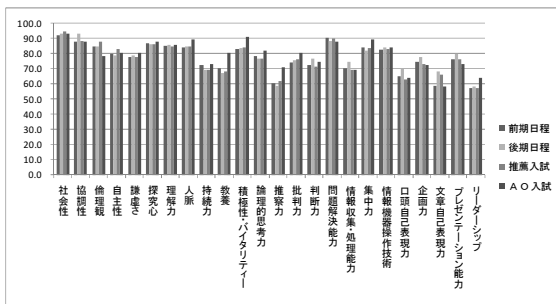


図3 卒業時調査における入学区分別
大学で養われた資質・能力
※平成21年度卒業時調査結果より

そこで、本分析対象者の卒業時調査における大学で養われた資質・能力についても、「大学でかなり養われた」4点「大学で少しは養われた」3点「大学ではあまり養われなかった」2点「大学では全く養われなかった」1点として24項目の合計点を算出し、大学における成長得点とした。表8は大学における成長得点の入学区分別平均を示した。

分析対象者全体ではAOの学生が74.42で、他の入学区分の学生の平均よりも高い。特に

経済学部のAO学生の平均が高く、大学において成長したと自己評価をしていると言える。

表8 大学における成長得点

		度数	平均値	F 値	有意確率
全体	AO	33	74.42	.921	.451
	推薦 I	63	70.87		
	推薦 II	21	70.86		
	前期日程	378	71.15		
	後期日程	86	72.02		
	合計	581	71.43		
人文	AO	5	73.20	.574	.634
	推薦 II	21	70.86		
	前期日程	41	70.76		
	後期日程	8	75.13		
	合計	75	71.41		
経済	AO	18	78.50	2.678	.047
	推薦 I	46	72.00		
	前期日程	186	72.55		
	後期日程	35	70.37		
	合計	285	72.57		
工	AO	10	67.70	1.579	.195
	推薦 I	17	67.82		
	前期日程	151	69.54		
	後期日程	43	72.79		
	合計	221	69.95		

3.3.3 大学生活に対する満足度

さらに、「卒業時の満足度」について見る。卒業時調査における入学区分別満足度は図4のとおりである。AOの学生が他の入学区分の学生と比べて満足し、後期日程の学生が満足していない傾向がみられた。

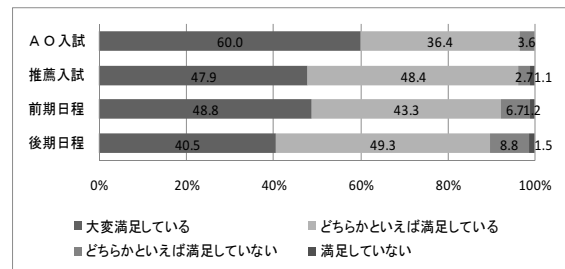


図4 卒業時調査における入学区分別満足度
※平成21年度卒業時調査結果より

そこで、本分析対象者の卒業時調査の大学に対する満足度についても、「大変満足している」4点「どちらかといえば満足している」3点「どちらかといえば満足していない」2点「満足していない」1点として満足度の得点を算出し、これを満足度得点とした。表9は本分析対象者の入学区分別満足度得点の平均を示したものである。満足度は分析対象者全体を入学区分別に見ても、また学部ごとに見ても有意差は見られなかった。

以上のことから、卒業時に「資質・能力と自己評価」と「大学教育における自己の成長」

表 9 満足度得点

		度数	平均値	F 値	有意確率
全体	AO	33	3.45	.580	.678
	推薦 I	66	3.42		
	推薦 II	21	3.48		
	前期日程	385	3.37		
	後期日程	86	3.30		
合計	591	3.38			
人文	AO	5	3.40	.435	.729
	推薦 II	21	3.48		
	前期日程	43	3.58		
	後期日程	8	3.38		
	合計	77	3.52		
経済	AO	18	3.67	1.166	.323
	推薦 I	48	3.60		
	前期日程	189	3.50		
	後期日程	35	3.40		
	合計	290	3.52		
工	AO	10	3.10	.603	.614
	推薦 I	18	2.94		
	前期日程	153	3.15		
	後期日程	43	3.21		
	合計	224	3.14		

「大学生活に対する満足度」には入学区分における特性は明確には表れていない。卒業時の山口大学の学生の意識は入学区分別の特性はないと言える。

3.4 学業成績と諸活動と意識の関連

以上、卒業時における学生の学業成績、在学中の諸活動、意識をそれぞれ見てきたが、これらの関連はどのようになっているのだろうか。表 10 は分析対象者全体と学部ごとの入学区分別(募集単位別)の学業成績と諸活動、意識の 3 つの相関を示したものである。

分析対象者全体では、「学業成績」は「諸活動」と相関している。「学業成績」と「意識」とでは TOEIC の最高スコアと満足度得点のみが相関しているが、相関係数は低い。「意識」は「諸活動」とは相関がみられる。つまり、大学在学中にさまざまな活動を経験した者ほど成績が良く、資質・能力の自己評価や大学教育における成長の自己評価が高く、大学生生活における満足度も高いと言える。

学部ごとに見て、分析対象者全体の傾向と同様の傾向にあるのは経済学部である。工学部もほぼ同様に説明することができるだろう。しかし、人文学部は「学業成績」「諸活動」「意識」の 3 つの関連は見出せない。学部ごとの入学区分別で注目すべきが、経済学部の AO の学生である。経済学部の AO の学生は、特に在学中の活動数が多く、資質・能力の自己

表 10 分析対象全体の 3 つの相関

		学業成績		諸活動	意識		
		全体 GPA	TOEIC 最大スコア		自己評価得点	成長得点	満足度得点
分析対象者全体	成 全体 GPA	1.000	.210**		-.009	.004	.020
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.243**	-.047	-.018	-.093*
	諸活動			1.000	.221**	.236**	.153**
	自己評価得点				1.000	.664**	.282**
	成長得点					1.000	.327**
満足度得点						1.000	
全体	成 全体 GPA	1.000	.079		-.084	-.256*	-.117
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.013	.065	-.084	-.122
	諸活動			1.000	.031	.224	.229*
	自己評価得点				1.000	.618**	-.160
	成長得点					1.000	.215
満足度得点						1.000	
AO	成 全体 GPA	1.000	.367		-.688	.275	.086
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.353	.714	.896*	.807
	諸活動			1.000	.392	.445	.142
	自己評価得点				1.000	.677	.788
	成長得点					1.000	.791
満足度得点						1.000	
推薦 II	成 全体 GPA	1.000	.076		-.130	-.245	-.109
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.204	-.082	-.218	-.053
	諸活動			1.000	.451*	.320	-.213
	自己評価得点				1.000	.749**	.404
	成長得点					1.000	.547*
満足度得点						1.000	
前期	成 全体 GPA	1.000	.123		.030	-.171	-.333*
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	-.024	.002	-.112	.100
	諸活動			1.000	-.325*	.210	.272
	自己評価得点				1.000	.472**	-.006
	成長得点					1.000	.044
満足度得点						1.000	
後期	成 全体 GPA	1.000	.092		.486	-.085	-.166
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	-.144	.292	-.382	.122
	諸活動			1.000	-.128	-.089	.311
	自己評価得点				1.000	.757	.049
	成長得点					1.000	-.071
満足度得点						1.000	
全体	成 全体 GPA	1.000	.318**		.171**	-.008	-.006
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.272**	-.049	-.131*	-.130*
	諸活動			1.000	.211**	.206**	-.138*
	自己評価得点				1.000	.677**	.298**
	成長得点					1.000	.321**
満足度得点						1.000	
AO	成 全体 GPA	1.000	-.134		-.036	-.191	-.320
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.146	.284	-.316	-.008
	諸活動			1.000	.293	-.254	-.070
	自己評価得点				1.000	.190	.096
	成長得点					1.000	-.116
満足度得点						1.000	
推薦 II	成 全体 GPA	1.000	.478**		.291*	-.036	.233
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.473**	.001	.001	-.357*
	諸活動			1.000	.253	.230	.073
	自己評価得点				1.000	.737**	.295*
	成長得点					1.000	.394*
満足度得点						1.000	
前期	成 全体 GPA	1.000	.324**		.150*	-.025	-.030
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.286**	-.070	-.114	-.098
	諸活動			1.000	.194**	.245**	.140
	自己評価得点				1.000	.705**	.323**
	成長得点					1.000	.344**
満足度得点						1.000	
後期	成 全体 GPA	1.000	.393*		.324	.279	.086
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.104	-.225	-.224	-.015
	諸活動			1.000	.087	-.127	.255
	自己評価得点				1.000	.780**	.249
	成長得点					1.000	.303
満足度得点						1.000	
全体	成 全体 GPA	1.000	.125		-.007	.138*	.105
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.154*	.019	.075	.162*
	諸活動			1.000	.288**	.255**	.036
	自己評価得点				1.000	.653**	.202*
	成長得点					1.000	.322**
満足度得点						1.000	
AO	成 全体 GPA	1.000	-.130		.196	-.082	-.194
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.504	.175	.226	.732*
	諸活動			1.000	.478	.673*	.205
	自己評価得点				1.000	.944**	.048
	成長得点					1.000	.021
満足度得点						1.000	
推薦 II	成 全体 GPA	1.000	.412		.008	.109	.354
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.220	.048	.000	.175
	諸活動			1.000	.192	.102	.460
	自己評価得点				1.000	.625**	-.229
	成長得点					1.000	-.271
満足度得点						1.000	
前期	成 全体 GPA	1.000	.052		.000	.113	-.004
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.071	.007	-.021	.038
	諸活動			1.000	.289**	.241**	-.043
	自己評価得点				1.000	.697**	.244**
	成長得点					1.000	.342**
満足度得点						1.000	
後期	成 全体 GPA	1.000	.372*		-.067	.300*	.461**
	績 TOEIC 最大スコア		1.000	.325*	-.048	.240	.436**
	諸活動			1.000	.213	.215	.183
	自己評価得点				1.000	.457**	.148
	成長得点					1.000	.368*
満足度得点						1.000	

評価も大学における成長の評価も高い学生集団であるが、「諸活動」と「学業成績」「意識」の相関が全くない。

とはいえ、「学業成績」「諸活動」「意識」の関連を分析した結果、「諸活動」に注目することは学生の追跡において有効であろう。

4 まとめ

大学にとって学生の大学に対する満足や自己評価の高さは大学評価でもある。大学はGPA等の学業成績が高く、大学に対する満足度や自己評価が高い卒業生を輩出することが好ましい。このような卒業生を輩出するためには、大学在学中の授業以外での「諸活動」が一つの要素になっているようである。

授業以外での「諸活動」が、大学教育の学業における成果や自己評価、満足度に繋がるのであれば、入試において大学で「諸活動」に参加しようとする意識や参加経験の有無等を求めることは有効なことである。

現在、山口大学のアドミッション・ポリシーは、募集単位ごとに全ての入試において共通である。ただし、AO入試はこの共通のアドミッション・ポリシーに加えてAO入試独自のアドミッション・ポリシーを掲げている。AO入試独自のアドミッション・ポリシーは、募集単位ごとの違いはあるが、共通のアドミッション・ポリシーよりも意欲やさまざまな活動の経験を求める記載が多い。特に経済学部はその傾向が顕著である。

こうしたアドミッション・ポリシーの違いのとおり、本分析結果には募集単位別の違いが少なからず見られ、AOの学生は在学中さまざまな活動に参加した傾向にある。しかし、経済学部のAOの学生に「学業成績」「諸活動」「意識」の関連はない。学生が入学してから卒業するまでの成長の過程の把握は複雑である。今後、アドミッション・ポリシーが示されている募集単位ごとに詳細にとらえていく必要がある。

アドミッション・ポリシーと入学者の入学時から卒業時までの特性の関係を分析することは、より明確にかつ具体的にアドミッション・ポリシーにおいて大学が求める学生像を示すためにも、またアドミッション・ポリシーで求めた学生を獲得するための入試の改善を見出すためにも重要であると考えられる。さらに、この入学者の追跡の手法とその分析は入試改善だけでなく大学教育改善においても必要なものであろう。

注

- 1) 平成23年度12月の段階では、平成21年度入学者の3学期分（セメスター制）の学業成績データと入学時調査、平成22年度入学者の1学期分の学業成績データと入学時調査、平成21年度卒業者の大学在籍中の全ての学業成績データと卒業時調査である。
- 2) 山口大学では、平成17年4月入学者から $GPA = \Sigma (\text{Units} \times \text{Grade Points}) / \Sigma (\text{Units})$ で算出している。（※Grade Points＝秀4点、優3点、良2点、可1点、不可0点、理由放棄0点、Units＝単位数）である。平成21年度卒業者の多くは平成18年入学者であり、上記の算出式が適用されているが、平成17年よりも前に入学した者も含まれているため平成21年度の学生全てを比較できるように平成16年までの成績管理に基づいて以下のとおり算出した。

$$GPA = \Sigma (\text{Units} \times \text{Grade Points}) / \Sigma (\text{Units})$$
(Grade Points＝秀・優3点、良2点、可1点、不可0点、理由放棄0点、Units＝単位数)
 本分析では4年間で卒業した者のみを分析対象としているが、この算出式によるGPAを用いる。
- 3) TOEICスコアが認定基準に到達していない学生は、到達するまでTOEICテストを受けなければならない。認定基準に到達した学生はその後にもTOEICテストにチャレンジし、最高スコアは大学に申請することになっている。用いるデータは、平成22年7月1日現在までに申請があった最高スコアである。データはあくまで学生の申請に基づくものであり、最高スコアをとっていても申請していない場合もある。